

平成24年度 第1回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成24年6月27日 14:30～15:30

場所：当別町役場 大会議室

出席委員 16名、欠席委員 6名、オブザーバー 2名、傍聴 1名

1 開会（司会：増輪事務局長）

2 会長挨拶（近藤会長）

本日は、時節柄なにかとお忙しいなか、平成24年度第1回当別町地域公共交通活性化協議会に出席いただきましてありがとうございます。平成18年から運営運行を始めましたコミュニティバスですけど、今年で7年目に入ったというところでございます。昨年からは国の補助金に頼らない自主運行を開始しました。昨年の実績をみますと、前年と同じ1,000万円を超える収入を確保できました。新たにバス路線に対する赤字補助であります、地域公共交通確保維持改善事業による国の補助金350万円が歳入増になりました。また、BDFを増やすことによって燃料費が減額となり、1,000万円を超える繰越金を生み出すことができた内容となっております。このような内容につきましては、このあと説明させていただきます。本日は3件の報告と4つの議事について審議をしていただきたく、活発な議論をお願いします。なお、平成24年度に入り人事異動や団体の役員の交代によりまして本協議会の委員に変更がありますので、新しく6人の方に委嘱状を交付させていただきます。本日はよろしく願いいたします。

3 委嘱状の交付

（司会：増輪事務局長）

ただいま会長からお話がありましたとおり委嘱状の交付を行いたいと思います。本日、町長公務出張のため、近藤副町長よりお渡しします。私がお名前を呼びますので、その場でご起立いただきまして委嘱状をお受け取りいただきますよう、よろしく願いします。

会長より委嘱状の交付

北海道運輸局札幌運輸支局 主席運輸企画専門官 工藤 正弘 さま

札幌開発建設部札幌道路事務所 計画課長 佐々木 克典 さま

当別町PTA連合会 会長 鈴木 信行 さま

当別町ボランティア連絡協議会 会長 大口 弘美 さま

社団法人北海道バス協会 専務理事 古屋 武 さま

当別町建設水道部長 堤 和弘 さま

につきましては本日欠席となっております。

4 副会長の指名

（司会：増輪事務局長）

前副会長 新保さんにおかれましては、4月の人事異動により退任されました。副会長の指名については本協議会設置要綱第4条第2項の規定により、会長の指名となっておりますので、会長、よろしく申し上げます。

(近藤会長)

副会長は、前任者から引き継いでいただくということで、北海道運輸局札幌運輸支局 工藤 主席運輸専門官を指名いたします。

## 5 報告

### (1) 平成23年度当別町地域公共交通活性化協議会事業実績について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料1に基づき説明。

平成24年度第1回の協議会でございますし、新たに委員なられた方もおりますので、簡単ですが当別町のバス事業について説明させていただきます。当別町のコミュニティバスは一般的には路線バスになります。当別の場合は法律に基づいてこの協議会を設置しまして、バス運行の資格を持っております(有)下段モータースに運行委託をしております。つまり協議会がバスを運営しているということになります。参加事業者がコアメンバーとして協議会に参加いただいております。現行の体制では独自のルート、運賃設定ができます。国土交通省の補助金が活用できるなどのメリットもありまして協議会が主として町ぐるみでバスを運行しております。委員のみなさまには、その都度、ご足労いただきまして、審議等ございますのでご理解していただきたい。

1Pに協議会委員名簿、2Pにはバスの運行概要を記載しています。一般路線200円の運賃。12枚綴りの回数券、1,3,6ヶ月の応援券を用意しております。3Pの運行路線について、23年度は運行路線を改正しております。7路線を運行してはいましたが、12月にはあいの里線と金沢線を一体にして路線を変更しております。変更後は7系統、平日66便、土日28便を運行している。4Pからは運行データについて記載してあります。平成23年度は一年間で135,815人に利用いただいている。H18年にコミバス事業を開始しているが、毎年約13万人にご利用いただいております。5Pには3月の協議会でもお話した、大雪等による運休・遅延等報告を記載しております。昭和56年以降では、当別町内で最大の大雪となりました。総降雪量979センチ、最大積雪量191センチというすごい大雪の年でした。13日間運休・遅延ダイヤが組まれました。運休便数187便、遅延便数40便ということになっております。6P以降は、各路線の乗り込み数の推移を記載しています。こちらについては、後ほどご覧いただければと思います。18Pは運行コストと運行収入について記載しています。平成23年度は265,000キロ運行しており総コスト41,506,529円となっております。1キロあたりですと156.1円、1人あたり305.6円になります。運行収入については、運賃収入4,203,600円、応援券販売額2,930,800円、回数券販売額2,885,600円、一日乗車券販売額45,600円、運行収入合計で10,020,000円、収入合計で10,349,475円となります。19Pには応援券販売箇所を記載しております。20Pには無料利用者について記載しております。これまで独自に行っていたそれぞれのサービスを引き継いで一元化したバスでございます。例えば、北海道医療大学の対象者、通勤・通学・通院については無料になっている。また、スウェーデンハウスのスウェーデンヒルズ内なら無料になっております。23P以降についてはまとめになっております。24Pの利用促進事業に関するまとめ

をご覧ください。昨年度は福祉出前講座に組み入れてもらい、大人向けかしこいクルマの使い方教室や60歳からのかしこいクルマ使い方教室を6回開講しました。そのほか、幼児向けの紙芝居、住民向けにバスまつりやふれあいバス運賃無料キャンペーンを実施しました。以上で実績報告の説明を終わります。

質疑なし

承認

## (2) 平成23年度当別町地域公共交通活性化協議会決算及び監査報告について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料2-1、2-2、2-3に基づいて説明。

収支決算書の収入の繰越金は予算額6,873,370円、収入額6,873,370円となりました。雑入は予算額906,630円、収入額331,902円、マイナス574,728円となりました。収入合計として予算額42,580,000円、収入額42,005,272円、マイナス574,728円となりました。支出について、事務局費は支出額29,580円となり420円のマイナスとなりました。次に運行事業費は支出額27,989,529円となり、事業推進費はBDFの活用と新たな補助制度の利用により7,694,471円のマイナスとなりました。積立金は予算額2,460,000円、支出額2,460,000円となりました。支出合計当初予算42,580,000円、支出合計30,479,109円、マイナス12,100,891円という支出決算となっております。

収入合計42,005,272円、支出合計30,479,109円、次年度繰越金11,526,163円となっております。以上で説明を終わります。

監査委員(山内委員)

平成24年6月20日に、当別町役場大会議室において、平成23年度当別町地域公共交通活性化協議会に係る会計並びに出納に関する書類、帳簿、通帳を山下義則監査と共に確認したところ、適正に行われているものと認められましたので、報告いたします。

質疑なし

承認

## (3) 平成23・24年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料3-1、3-2に基づいて説明。

協議会における事業評価結果については事業実施の適切性はすべてAですが、目標・効果達成状況については、目標が若干高すぎたこともあり達成できずにCとなっております。地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果がでたのでみなさまにお知らせしたい。評価結果については、「自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。事業の目的である「交通弱者の移動手段の確保」については、概ね達成したと考える。しかしながら、定量的な目標の「住民のコミュニティバスに対する満足度」を把握しておらず、また、「バス利用者の増加」「運行経費に対する収入割合」についても

未達成であることから、今後は達成状況の把握及び未達成理由の詳細な分析を行い、必要に応じて、具体的な改善策を実施することを期待する。」という評価をいただいております。

質疑なし

承認

## 6 議事

### (1) 平成24年度予算の変更について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料4に基づいて説明。

平成23年度の決算が確定したことにより、繰越金も確定しました。3月に開催した協議会では見込みとして計上していたので、繰越金に係る部分を変更したいと思います。収入の部分、繰越金を当初予算7,928,272円から変更予算案11,526,163円に変更させていただきたい。続きまして支出の部分、積立金を当初予算9,947,000円から変更予算案13,547,000円に変更させていただきたい。積立金についても、13,547,000円に変更させていただきたいと思います。以上、ご審議をお願いします。

質疑なし

提案どおり決定

### (2) 平成24年度地域内フィーダー計画の変更について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料5に基づいて説明。

地域公共交通確保維持改善事業補助金の中で、フィーダー路線の部分の計画を立てております。この度制度改正によりまして、補助対象経費の上限額が撤廃されました。変更後をご覧ください。補助対象経費の1/2、7,105,000円補助金がもらえることとなります。市町村ごとの国庫補助金上限設定されておりまして、当別町の上限額が6,355,000円になった。変更前と比較して3,000,000円近く補助額が上がりました。この部分の変更をお願いしたい。

異議なし

提案どおり決定

### (3) 平成25年度地域内フィーダー計画の策定について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料6に基づいて説明。

フィーダー路線の補助金をもうらために提出しなければならない計画でございます。今回提出する資料は目標と効果を加えながら、当別町のバス事業の実施内容を盛り込んで提出します。目標としては、市街地循環線(昇順)1日あたり10.8人、(降順)10.2人、みどり野線49.0人、青山線52.2人としております。平成23年度実績以上、達成できる目標設定にしております。運行経費に対する収入の割合についても同じでございます。市街地循環線(昇順)12.2%、(降順)1

1.8%、みどり野線18.9%、青山線20.2%としております。このような目標を設定しながら、バス事業を展開していきたいと思っております。よろしくご審議をお願いします。

異議なし

提案どおり決定

#### (4) 今後のスケジュールについて

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料7に基づいて説明。

次回の協議会を7月に開催させていただきたい。JR電化に伴うダイヤ改正協議を行いたい。10月1日のダイヤ改正を行うには、7月下旬に協議会を開催しなければなりません。その後は、12月下旬に年末年始の運行を行うとか、4月ダイヤ改正に向けた協議会の開催を予定しております。3月には25年度事業計画・予算案に向けた協議会を開催させていただきたいと思っております。以上です。

（菊池委員）

今回の電化に伴うダイヤ改正は別にして、例えば夏ダイヤや冬ダイヤ等は、協議会にかけないでやってもらいたい。

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

道路運送法の法律があって、独自の料金設定、ダイヤ改正には協議会で合意を得てから、協議会で諮った内容を運輸局に申請しなければなりません。お手数ですけど、お集まりいただきたい。

8 閉会（近藤会長）